

道南太平洋海域スケトウダラニュース

平成14年度 第1号

2002年9月30日

北海道立函館水産試験場室蘭支場

Tel: 0143-22-2327

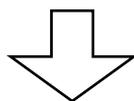
Fax: 0143-22-7605

道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

函館水試調査船金星丸により行われたスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：平成14年9月4日～9月10日
- ・調査海域：道南太平洋の水深100～600m海域

水深200m以深の水温は5 以下とスケトウダラに好適
分布の中心は地球岬沖から白老沖に形成
分布水深は例年同様300m前後
スケトウダラの平均反応量は昨年並みの低い水準



- ・漁場は例年同様漁期はじめに水深300m前後に形成
- ・魚の分布密度は胆振側で高い
- ・魚の来遊は昨年同様遅れている可能性

1. スケトウダラの分布する200m以深の水温は5 以下となっていました。
2. スケトウダラは地球岬沖から白老沖（海区番号182～185）にかけて分布していました（図1）。
3. スケトウダラの分布水深帯は水深200～400m（中心は300m）でしたが、水深350m以深にはイトヒキダラが混ざって分布していました。
4. 調査海域の平均反応量は、昨年並みの低い水準でした。
6. 現在のところ、水温環境はスケトウダラにとって好適なようです。
7. スケトウダラの分布水深は例年同様ですので、漁期はじめには水深300m前後に漁場が形成されるでしょう。
8. スケトウダラの反応量が少なかったことから、魚の来遊が遅れていると考えられます。昨年同様に10～11月の漁獲は低くなる可能性があります。
9. 漁期前の計量魚探調査の結果は、漁期はじめの状態を調べる調査です。今後10月末、11月末にも調査を実施する予定です。

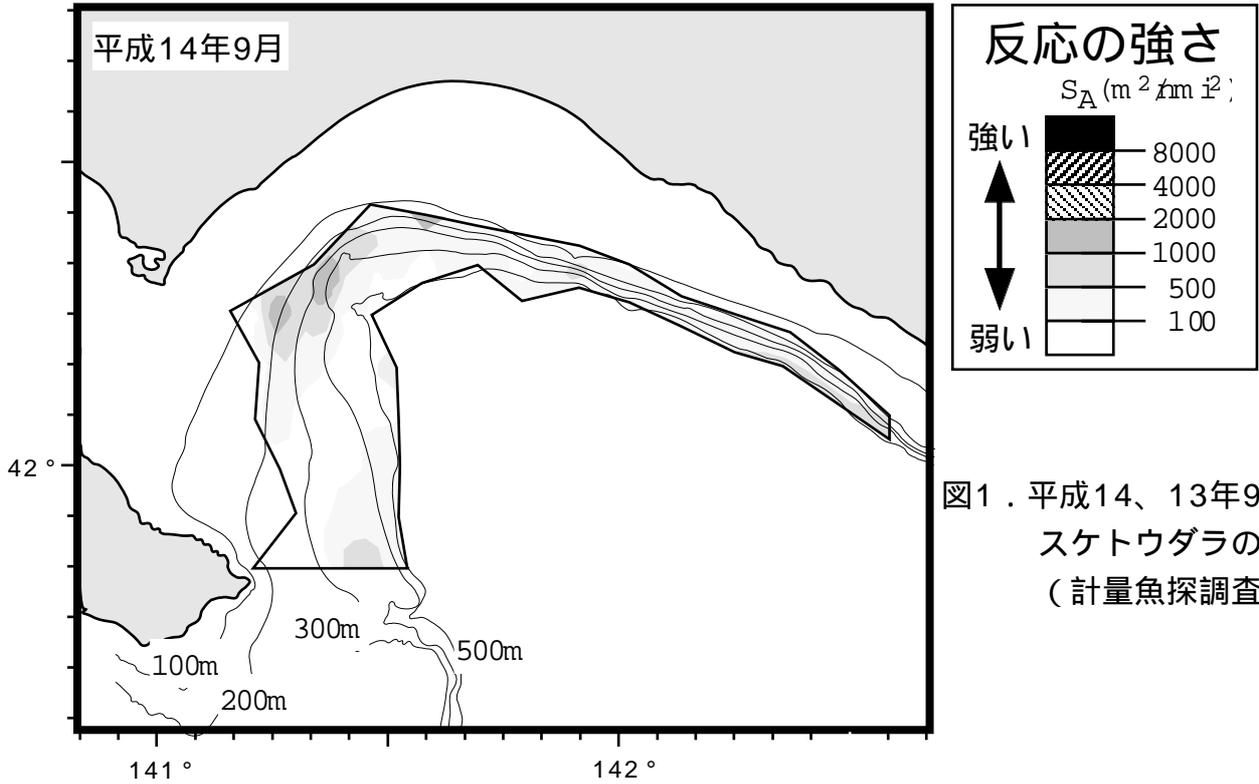


図1. 平成14、13年9月のスケトウダラの分布 (計量魚探調査)

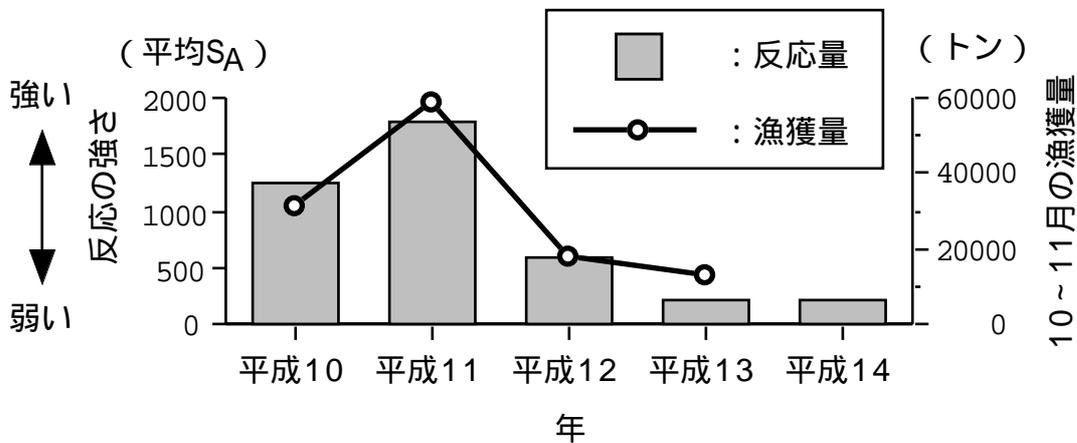
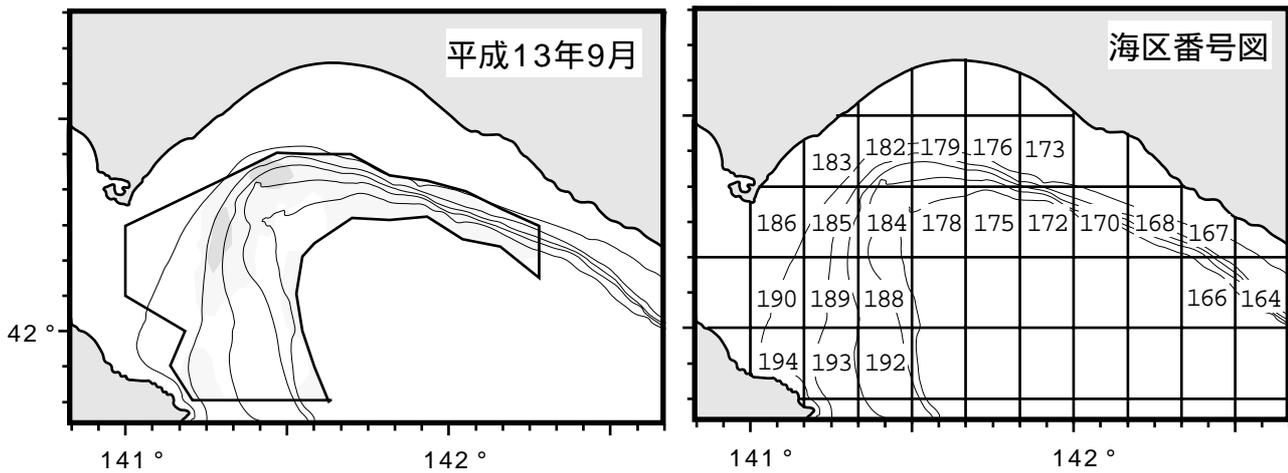


図2. 9~10月のスケトウダラ平均反応量と10~11月の漁獲量